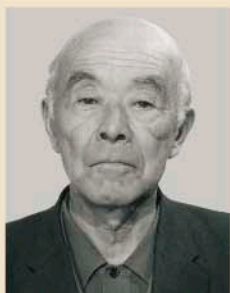


市田柿について

・武田彦左衛門



市田郷、松岡の城主松岡氏は、累代敬神崇佛の念が篤くありました。特に伊勢神宮、諏訪大明神、八幡大神を尊崇し奉り、又臨濟宗に歸依いたしました。城下の鎮守萩山神社には諏訪大明神と八幡大神を奉齋し、その御射山祭には、城主躬ら麾下八拾騎を率ゐて騎馬の神事を執行したと傳へられてゐます。本社諏訪神社の大祭には御頭役に勤仕したことが、足利時代の長祿寛正あたりから應仁長享の頃に至る間が御符禮の古書に明らかであります。この様に領主が敬神に篤かったから、その領民もこの念に篤く、特に古くから伊勢神宮の尊崇をいたしました。

領内上市田には村社伊勢神社が鎮座します。戦国時代、天正の頃には伊勢より御師が参つて、城内をはじめ廣く領内に大麻を奉戴せしめたことも明らかであります。徳川時代に至つて大神宮の尊崇は益々篤く、村内各地に伊勢講の發起結成があり、毎年交替に神宮へ代参を行つて参りました。下市田の一講社の如きは、伊勢神宮の御分靈を勧請して、市場の北端、間ヶ澤川の南岸の地に社地を設け、一祠を造營してここに奉齋し厚い祭祀を怠らなかつたのであります。今よ

村文教上に大なる貢献をのこした人です。高智の下へ村内の寺子が集つた頃には、伊勢社の神木柿の木は樹勢最も旺盛にして結実の盛んな時代でありました。師匠は神柿を採つて先づ伊勢神社へ奉り、寺子と共に焼いて賞味したと言ひます。そして村内へは栽植を奨励し、村人の需めるままに分け与へたのであります。

この時分からこの焼柿が村内一般に認められる様になり、次第に増殖され改良に改良を加へて今日の盛大を致したのであります。今から六拾年程前までは焼いて食べたり、従来山柿と同じく串にさして乾柿として貯蔵してゐましたが、漸次改良され、殊に近年に至り栽培法や調製法、或は利用法等が研究されて実質外觀共に備り、いつの時代からか市田柿の名を誇る様になつたのであります。

市田柿の元祖たる実に伊勢神域の神木であつたが、村民の篤い伊勢神宮への信心の力が村内普くひろがりゆく様と共に、ひろく増殖されて来たのであります。かくも珍らしく不思議な柿が伊勢神域の神域にあつたことについては、傳説と古老の意見を徴して見るに、一つはこの靈域に自然に生へて出たと思はれるといふことと、一つには御師が持ち来つて植えたか講中の人が参宮記念に献木したものであらうとの二つであります。

要するに市田柿の元祖は、伊勢宮の靈域に成長し、少くも百五十年以上の歳月を経て今日に至つてゐるの

り凡そ百五十年前後のことでもあります。

年々御師が参つて上下伊那の檀中を巡廻しましたが、この講中では伊勢社の境内へ屋敷を設け住宅を建立し、これに御師を住はせ且つ社附きの山林を經營し、祭典や修覆の賄に宛て、御師に対しては講中で手厚く一切の世話を行いました。此の屋敷を今に至る伊勢屋敷と呼んでゐます。

この頃、伊勢社の境内の東南隅に一樹の神木焼柿の古木がありました。この柿は焼いて食べても、乾柿としてもまことに美味しいものであります。當時柿といへば所謂山柿と称する澁柿ばかりで、何處の家の屋敷にも田畑の周邊にも数本は必ずあるといふ位澤山の柿であつたが、此の柿の様な味の佳い柿は他に類例を見なかつたのであります。毎年晩秋の候にはこの珍味の柿を採つて先づ伊勢神社の神前へ奉獻し、御師にも進上したとのことでもあります。

次で、この伊勢屋敷へ三州田原藩の藩士児島礼齋（編集部注・礼順）高智といふ漢學者が来て住むことになりました。村の人々は高智の學識を慕ひ就いて修學する者が多くありました。手習師匠としての高智は、

であります。

「市田柿」（昭和18年国民学校調べ、高森町歴史民俗資料館所蔵）より掲載。かなづかい、旧字は原文通りに表記し、句読点、改行は読みやすいように手を加えました。

武田彦左衛門氏略歴（「伊那」一九八五年三月号より作成）

明治37年	7月17日、河野村堀越にて武田八五郎の長男として生まれる
明治44年	河野小学校堀越分教場に入學
大正9年	下市田小学校の教諭となる
大正12年	上郷小学校の教諭となる
大正14年	市村成人の郷土史研究に随伴する
昭和2年	神稲学校の教諭となる。河原棕陰に漢学、詩文を学ぶ
昭和6年	下伊那教育会歴史調査委員となる
昭和9年	山本小学校の教諭となる
昭和13年	大河原小学校の首席訓導となる
昭和15年	市田小学校の教諭となる。市田村史編纂主任として、松岡城址、市田陣屋跡などを調査
昭和19年	市田国民学校の教頭となる
昭和21年	八重河内国民学校の校長となるが、父・八五郎の死去により八重河内国民学校を辞職。
昭和22年	河野中学校の教諭となる。その後、「市村成人全集」、豊丘村史の編集にあたる
昭和54年	長野県教育委員会から文化功勞者として表彰される
昭和59年	文部大臣から文化功勞者として表彰される